CentreNET[®] X Vision ユーザーマニュアル かんたん編

アライドテレシス株式会社

PN J613-M4407-00 Rev.A 010220

ご注意

本書の中に含まれる情報は、弊社(アライドテレシス株式会社)が保有しています。弊社の同意なく本書の全体もしくは-部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体もしくは一部を修正または改訂することがあります。あらかじめご了承ください。

弊社は、改良のため予告なく製品の仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

本製品の内容またはその仕様に関連して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

Copyright 2001 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreNETは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスする米国ならびに他の国における登録商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国その他の国における登録商標です。

HPは、米国Hewlett-Packard Companyの商標または登録商標です。

Intel、Pentiumはインテルの登録商標です。Celeronはインテルの商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2001年2月 初版

目次



はじめに

X Vision とは このマニュアルの内容



基本事項	8
デスクトップにあるもの	9
Vision フォルダまたは Vision グループの内容	10
ヘルプの使い方	12
X プログラムの実行	15
文字ベースのプログラムの実行	17
UNIX プログラムの項目の作成	19
X アプリケーションの使用	22
UNIX サーバの内容の表示	25



詳しい使い方

X Vision の設定

32

Motif または OPEN LOOK の使用	40
ファイルとフォルダの整理	41
印刷	49
トラブルシューティング	56



UNIX ショートカットの Windows デスクトップへの設定 58

- エミュレータから他のドキュメントへのリンク 61
- Zone を使ったデスクトップの整理 64









このマニュアルでは、X Vision の概要とインストー ルや設定の方法を説明します。X Vision を PC にイン ストールし、X Vision を使って UNIX アプリケーショ ンを使うためにはこのマニュアルを読む必要があり ます。

このマニュアルを読むと、Microsoft Windows から UNIX アプリケーションにアクセスする方法として X Vision が最も簡単である理由がわかります。

この章の内容

X Vision とは	6
このマニュアルの内容	7

X Vision とは

PC上のWindowsユーザはXVisionを使うことにより、UNIXの文字ベースのアプ リケーションやリモートのホストシステムで実行されるXウィンドウシステムの アプリケーションに透過的にアクセスできます。マウスでクリックするだけで、 リモートシステム上のファイルの表示や、アプリケーションを起動することがで きます。また、ファイル転送、印刷も備えることによって、ひとつの完結した接 続パッケージとなっています。

PC のユーザは、オフィスや外出先からでも Windows を扱うのと同じように UNIX のアプリケーションを操作できます。ネットワークと接続の細部はすべて X Vision が処理するため、ユーザが意識することはありません。

X Visionを使うと以下のことが可能です。

- リモートの UNIX システム上にある X ウィンドウシステムのグラフィックアプ リケーション、または VT420 などの文字端末アプリケーションの実行
- 使い慣れている Microsoft Windows の環境での操作
- Windows からの UNIX のアプリケーションの簡単な起動
- X アプリケーションでの Microsoft Windows の見た目と使い心地の選択および X ワークステーションの見た目と使い心地として標準の X ウィンドウマネー ジャの使用
- UNIX システム上のファイルやフォルダ、およびファイル階層を、Windowsの ファイルを表示するのと似た方法で表示
- UNIX のドキュメントを Windows のデスクトップから開く
- UNIX アプリケーションと Microsoft Windows アプリケーションの間での情報のコピー
- PC システムと UNIX システムの間でのファイルの転送
- Windows および UNIX プログラムの実行中に複数のゾーンを持つ仮想デスク トップ領域の作成、およびそれぞれのゾーンでの切り替え
- リモートホストから、 PC に接続されたプリンタへのファイルの印刷
- Windows アプリケーションから、UNIX システムに接続されたプリンタへの印刷
- さまざまな種類のネットワークを使って UNIX システムへ PC を接続

このマニュアルの内容



第1章「基本事項」では、Windowsのデスクトップに表示されるものと、オンラインヘルプから詳しい情報を得る方法について説明します。また、UNIX アプリケーションの実行方法、Xプログラムの扱い方、UNIXファイルの表示方法についても説明します。



第2章「詳しい使い方」では、自分のPCで好みのウィンドウマネージャを実行してXディスプレイにする方法を説明します。また、リモート印刷の設定方法についても説明します。XVisionを使ってUNIXサーバ上のファイルを整理することもできます。



第 3章「高度な使い方」では、デスクトップをゾーンに分割する方法、UNIXの データから Windows ドキュメントにリンクする方法を説明します。







この章ではX Visionの概要を説明します。

Windows のデスクトップ上に何が表示されるかと、 オンラインヘルプから詳しい情報を得る方法につい て説明します。また、UNIX アプリケーションの実 行方法、X プログラムの扱い方、UNIX ファイルの 表示方法についても説明します。

この章の内容

8
9
10
12
15
17
19
22
25

デスクトップにあるもの

Windows 2000/Me/98/95 および Windows NT 4.0 では、[スタート] メニューに [Unix プログラムの一覧]、[Unix プログラムの登録]、[Unix プログラムの実行] の 3 つのコマンドが追加されます。また、デスクトップには [Unix ネットワークコン ピュータ] というアイコンが追加されます。デスクトップには [マイコンピュータ] アイコンが既にあるはずです。また、MS-DOS や Windows のネットワークに接続 されている PC の場合には [ネットワークコンピュータ] アイコンも表示されている ことがあります。[Unix ネットワークコンピュータ] は、これと似た機能を持つ UNIX サーバを表示するための項目です。

		Unixプログラムの一覧	•	
		Office ドキュメントの新規作店	ţ,	
	Ð	Office ドキュメントを開く		
		Unixプログラムの実行		
	*	Unixプログラムの登録		77 JUL 1-9
		プログラム(<u>P</u>)	•	<u>_</u>
	\bigcirc	最近使ったファイル(D)	×	ネットワーク
	.	設定(<u>S</u>)	•	コンビュータ
Ŋ		検索(E)	•	
NS	2	^ルフ*(<u>H</u>)		
Ð	2	ファイル名を指定して実行(<u>R</u>)		Unix ネットワーク コンセ*ュータ
Ž		Windows の終了(U)		
#	スタート		Q 197	<7℃ローラー C:¥

Windows NT 3.51 では、プログラムマネージャに [CentreNET X Vision] グループが 作成されます。

ー プログラム マネージャ - MACKPC¥makoto	▼ ▲
アイコン(E) オプション(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(E)	
📼 CentreNET X Vision(共通) 🔽 🔺	
■ ※ 420 エミュレーCentrateET X、ストマネーガログラムスタッオタトコンヰイマッフエディタ	
「 マップ国家身身ョンマネ米従きのスパイCentrelをIIX CentrelをIIX CentrelをIIX Visionへ从ありの」が追い成分イセンスアップグレード	
です Cen tureで ガリケーションウィザード Visionの角隊	
Adobe CentreNET Internet Acrobat AT-TOP32 Explorer 4 D1	
「「「」」」 「「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」 「	
72tz 	

Vision フォルダまたは Vision グループの内容

Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 の場合には、[スタート] メニュー の [プログラム] フォルダ内にある [CentreNET X Vision] フォルダ、Windows NT 3.51 の場合にはプログラムマネージャ内の [CentreNET X Vision] グループに、Setup プログラムでの選択に応じて次の表に示したアイテムの一部、またはすべてが含 まれます。一部の項目は [CentreNET X Vision] フォルダのサブフォルダ内に置かれ ます。

項目	説明
(¹¹)	オーディオサーバ。声、音響効果、音楽などの音声をネット ワーク環境で送受信する機能を X アプリケーションに付加し ます。
Č	コネクションマネージャ。多重化送信を行うプロトコルを 使っているときに、接続の PC 側を管理するのに使われま す。通常、必要があると自動的に起動されます。
*	フォントコンパイラ。サードパーティ製のフォントが X サー バで使えるようにコンパイルされます。
Ð	ホストエクスプローラ。Windows 2000/Me/98/95 や Win- dows NT 4.0 でリモートホストを表示するのに使います。
	ホストマネージャ。Windows NT 3.51 でリモートホストを表 示するのに使います。
2	キーマップエディタ。端末エミュレータで使うキーボード マップの作成と変更を行います。
	プログラムスタータ。UNIX サーバ上のプログラムを離れた ところから実行できます。
	Vision ヘルプ。X Vision Help を起動します。

アイテム	説明
	VT420 エミュレータ。VT420 端末のエミュレータです。
2	X キーマップエディタ。X クライアントで使うキーボード マップを作成できます。
21	X Vision サーバ。X ウィンドウシステムのクライアントを手 元の PC に表示できます。
錫	X Vision セットアップ。部分的な設定のみ実行した場合に、 オプションを追加できます。
%	X Vision スパイ。X プロトコルのストリームを記録して再現 するトラブルシューティング用のツールです。必ずテクニカ ルサポートの指示の下に使います。X Vision のマニュアルで は説明しません。
2	Zone。WindowsとUNIX、またはそのどちらかだけのアプリ ケーションを含む複数のゾーンからなる仮想デスクトップ領 域を作成し、その間で切り替えを行います。

ヘルプの使い方

オンラインヘルプは、X Vision に関する主な情報源です。このヘルプは4つに分類 できます。基本的な考え方の紹介、特定の手順に関するヘルプ、画面に表示され ている内容に応じたコンテキストヘルプ、オンラインのリファレンスマニュアル です。

ヘルプを使用するには

- ▼ Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 の場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム] をポイントします。次に、[CentreNET X Vision] をポイントして [CentreNET X Vision ヘルプ] をクリックします。
- ▼ バージョン 4.0 より前の Windows NT の場合は、プログラムマネージャの [CentreNET X Vision] グループで [CentreNET X Vision ヘルプ] アイコンをダ ブルクリックします。

ピックの検索: CentreNET X Vision ?	×
目次 キーワード テキスト検索	
,	
本 を効ックし、 次に 「開く」 を炒っクしてください。または、 [キーワート'] など別のタブを夘ックして ください。	
CentreNET X Vision の紹介	
● 使い方 ● リファレンス	
トラブルシューティング	
開入(型) 日期(学) 年約27月	

▲ ヘルプトピックのリストが表示されます。タブキーを押すと、数通りの方法 で情報を検索できます。



キーワードからヘルプを探すには

り ヒント

[ヘルプキーワード]

[キーワード] タブをクリックしてアルファベット順に並んでいる具体的なト ピックを見つけてから、画面の指示に従います。

をに単字こ本うす見はよい。 ないの最力・引きたいで単 するいのでした。 ないのした。 でののに、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したのので、 したのので、 したのので、 したのので、 したのので、 したのので、 したのので、 したのので、 したのので、 したのので、 したのので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したののので、 したのので、 したのので、 したのので、 したでのので、 したで、 したで、 したでで、 したで、 し	ビベル・ドビイン Vition 日次 キャワード デオスド業業 1. 現したい 最もの最初の何文字かを入力してください VD ホスト、作成 2 キャワード デオストは (1) ホスト、作成 2 キャワード 空が分し、次に (扱示) をゲッカしてください VD ホームフォルグ ホスト マンリントオンシュンの指定 マンリントオンシュンの指定 マンリントマシュンの指定 マンリントマシュンの指定 マントンシュンの指定 マントンションの指定 マントンションの	×
--	--	-------







X プログラムの実行

PC で X プログラムを表示するには、X サーバが実行されている必要があります。 通常、X サーバはセットアップの完了時と PC の起動時には自動的に起動されま す。デフォルトでは、X サーバは"マルチウィンドウモード"で実行されます。そ れにより組み込みの Vision Window Manager が使われ、X クライアントの見た目 と使い心地は Microsoft Windows と同じになります。自分の PC を X 端末と同様の 見た目にするには、X サーバを"シングルウィンドウモード"で使用し、標準の X ウィンドウマネージャを使う必要があります。X サーバの設定と起動についての詳 細は、第2章「詳しい使い方」を参照してください。

ネットワークに接続されている PC では、リモートプログラムスタータを使って X アプリケーションを起動できます。

X プログラムを実行する方法

- ▼ 1 以下のどちらかを実行します。
 - Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 の場合は、[スタート] ボ タンをクリックし、[Unix プログラムの実行] をクリックします。
 - バージョン 4.0 より前の Windows NT の場合は、プログラムマネージャで [CentreNET X Vision]を開いて、[プログラムスタータ]のアイコンをダブル クリックします。

🚽 (無題) - Remoti	e Program Starter (P) ヘルフ"(H)	? ×
₩ <u>, 1 ~ 2</u>	jupiter	T
: (<u>0</u>) : אַרָקב	xterm	V
実行(12)	参照(B) 終了(Q) 小ば	»* (<u>H)</u>

- ◀2 [ホスト] ボックスで、ホスト名 を入力するかドロップダウンリ ストから選択します。
- ▶ 3 [コマンド] ボックスに、X プログラムを起動するためのコマンドを入力します。DISPLAY 変数は自動的に設定されるため、-display オプションは指定しないでください。また、末尾にはアンパサント(&) を入力しないでください。

別の方法では、まず [参照] ボタンをクリックします。[ホスト] ボックスが空 だと、設定されているホストがすべて表示されます。[ホスト] ボックスにホ ストを指定していると、そのホストにある自分のホームディレクトリの内容 が表示されます。ここで、実行したいプログラムかシェルスクリプトを探し ます。

- ▶ 4 他の設定を変更する場合は、[プロパティ]メニューからコマンドを選択します。項目に関するヘルプを見るには、タイトルバーにある疑問符のボタンを クリックしてからその項目をクリックします。
- ▶5 [実行]をクリックします。

数秒後に X アプリケーションが起動するはずです。X アプリケーションが表示されない場合は、ヘルプのトラブルシューティングを実行して問題を特定してください。[スタート] ボタンをクリックして [プログラム] をポイントし、それから [CentreNET X Vision] をポイントします。次に、[CentreNET X Vision ヘルプ]をクリックし、[目次] タブの [トラブルシューティング]をダブルクリックします。

文字ペースのプログラムの実行

文字ベースのUNIXプログラムは、一定の種類の端末だけで動作するように設計されています。そのため、そのようなUNIXプログラムをPCから実行するには、X Visionの端末エミュレータを使う必要があります。VT420端末エミュレータが用意 されています。ほとんどのUNIXアプリケーションは、この端末で使用できるはず ですが、一部サポートされないESCシーケンスがあります。制限事項については 「ユーザーマニュアル・インストール編」「リリースノート」を参照して下さい。

端末エミュレータからプログラムを実行する方法

- ▼1 以下のいずれかを実行します。
 - Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 の場合は、[スタート] ボ タンをクリックし、[プログラム] をポイントします。次に、[CentreNET X Vision] をポイントし、[VT420 エミュレータ] をクリックします。
 - バージョン 4.0 より前の Windows NT の場合は、プログラムマネージャで [CentreNET X Vision] グループを開いて、VT420 エミュレータのアイコン をダブルクリックします。

🚅 Untitle	d – VT420) Emulator				_ 🗆 ×
ファイル(<u>F</u>)	編集(E)	表示(⊻)	セッション(<u>S</u>)	記録(<u>R</u>)	プロパティ(<u>P</u>)	ヘルフ*(<u>H</u>)
	5 5	Pa 🛍 (A+ A- 🗠	28 (†) <i>E</i>	9 %	
切断され	れました			L	:1C:1	



- ▼3 [ホスト] ボックスで、ホスト名を入力するかドロップダウンリストから選択します。
- ▼4 [コマンドライン] ボックスに、プログラムを起動するためのコマンドを入力 します。UNIX ホストに手動でログインする場合は、空白のままにしておき ます。UNIX システムのプロンプトを表示する場合は、sh や csh などのシェ ルプログラムの名前を入力します。

接続		? ×
叔凡田) :	jupiter 💌	OK
בעלי∛אַעקב :	csh	キャンセル

ブラウズボタン (…) をクリックして UNIX ホストを表示させて、ログオンす るホスト (およびコマンド) を指定する方法があります。ホストを指定しなけ れば、すべてのホストが表示されます。[ホスト] エントリにホストが指定さ れていると、そのホストにある自分のホームディレクトリの内容が表示され ます。ここで、実行したいプログラムかシェルスクリプトを探します。

プログラム名が入力してあると、UNIX ホストに接続されて自動的にログイ ンし、プログラムが起動します。シェルプログラムを指定した場合は、UNIX システムのプロンプトが表示されて、実際の端末でログインしたのと同じよ うにシステムを操作できます。[コマンドライン] ボックスが空白のままだ と、接続してからUNIXの"Login"プロンプトが表示されて手動でのログイ ンが要求されます。ログインすると、デフォルトのログインシェルによるシ ステムプロンプトが表示されます。シェル以外のプログラムを指定してある と、自動接続とログインが完了してすぐにそのプログラムが実行されます。

UNIX プログラムの項目の作成

Unix アプリケーションウィザードを使うと、X アプリケーションや文字ベースの アプリケーションを起動するための Windows のデスクトップ項目を作成できま す。このウィザードでは、Windows 2000/Me/98/95 および Windows NT 4.0 の場 合はアプリケーションが [スタート] メニューの [Unix プログラムの一覧] メニュー に追加されるか、ウィザードをどのように起動したかに応じてデスクトップ上ま たはフォルダの中に新しいアイコンが作成されます。Windows NT 3.51 では、 [Windows] フォルダの中に設定ファイルが作成され、それをクリックするとアプ リケーションを起動できます。

UNIX プログラムのデスクトップ項目を作成するには

- ▶ 1 以下のいずれかを実行します。
 - アプリケーションを [スタート] メニューに表示する場合は、[スタート] ボ タンをクリックしてから [Unix プログラムの登録]をクリックします。
 - アプリケーションをアイコンとしてデスクトップ上かフォルダ内に表示する場合は、マウスの右ボタンでアイコンの位置をクリックしてから、[新規作成]をクリックし、次に[Unix プログラム]をクリックします。
 - 古いバージョンの Windows では、プログラムマネージャの [CentreNET X Vision] グループを開いて [Unix アプリケーションウィザード] アイコンを ダブルクリックします。
- ▼2 ウィザードの指示に従って、ホストと実行するコマンドを選択します。[参照] ボタンを使って実行可能ファイルを探すことができます。

Unix Application Wi	zard		
コマント の 選択			<u> </u>
参照位置(<u>1</u>):		▼ 🗈	
resize	usput ppxy	∐_xbiff	∐ xconsole
showfont	l viewres	∐ xcalc	xcutsel
showrgb	wm I	🚺 xclipboard	xditview
startx	🚺 x11perf	xclock	🗋 xdm
twm	🚺 x11perfcomp	🗋 xcmsdb	xdpr
luil	🗋 xauth	🗋 xcmstest	xdpyinfo
•			▶
	velock		
27 THE CITY .	, arook		第く①
			キャンセル

😤 Unix Application Wizard	X
	 選択したアプリケーションの種類を選択してください。 この診定は、あなたのコンピュータにアプリケーションを どのように表示するかが決定するものです。 親えば、"X アプリケーション"を選択した場合には、"X クライアント"として設定されます。 アプリケーションの種類 アプリケーション VT420IIミュレータ その他
< 戻る	(B) 次へ(W)> キャンセル ∧ルプ

▼ 3 プログラムの種類を選択するように要求されます。[その他] は、ユーザイン タフェースのない UNIX プログラムです。

▼4 ウィザードから、アプリケーションをテストするかどうかが尋ねられます。 コマンドによって、実行する前にホストシステムを誤って変更しないように 注意してください。

アプリケーションが X クライアントである場合は、[ホストからの応答表示] ウィンドウが表示されます。ここには、ホスト側のオペレーティングシステ ムによって生成されたエラーメッセージなどの、ステータスメッセージが表 示されます。次に、X クライアントが表示されます。



▼5 コマンドによってエラーが発生すると、ウィザードによってそのエラーが表示されます。一般的なエラーの場合は、リストからエラーを選択して [ヘルプ] ボタンをクリックして、その状況に合ったアドバイスが得られます。[戻る] ボタンをクリックすると設定が前の状態に戻り、プログラムを実行し直すことができます。

Unix Application Wizard	
	設定したアフリケーションが実行されました。 もし、実行しない、あるいは予想した通り動作しない 場合は、「ヘルフ」を参照してみてください。 また、「戻る」をクリックして前のヘーションに戻り、設定を変 更することができます。 アフリケーションの起動時メッセーシ [*] (<u>M</u>) ☑ <u>このヘ[*]ーン[*]が終わるとアフリケーションを閉じる(</u> <u>C</u>)
〈戻	る(日) 次へ (2)> キャンセル ヘルフ*

▶ 6 ウィザードからアプリケーション名が尋ねられます。この名前が、設定ファ イルの名前として使われます。

Unix アプリウィザードによって、リモートプログラムスタータドキュメント (.rps) か端末エミュレータドキュメント (.v42) が作成されます。[スタート] メ ニューからウィザードを実行した場合には、アプリケーションは [スタート] メニューの [Unix プログラムの一覧] のリストに追加されます。デスクトップ から実行した場合には、新しいアイコンが表示されます。フォルダ内から実 行した場合には、そのフォルダに設定ドキュメントが作成されます。

X アプリケーションの使用

ここでは、X アプリケーションが起動して PC の画面に表示されてからの使用についての基本的な知識を説明します (「X プログラムの実行」を参照)。

XとWindowsの間でのコピーアンドペースト

X クライアントと Windows アプリケーションの間では、簡単に情報のコピーアンドペーストができます。以下の手順は、X サーバのプロファイルでクリップボードのデフォルトの設定を変更していないことが前提です。

情報をコピーアンドペーストするには

▼1 X アプリケーション側のコピーしたい情報を、マウスでドラッグして選択します。これにより、その情報がWindowsのクリップボードにコピーされます。

4000 実行時にユーザ ID を設定します。 か 7 1 5 3 まだは 1 00とき、実行時に グ りが 7 10 を設てします。 クリップボードか ら X アプリケー ションに情報を ペーストするに 4000 実行時にユーザ ID を設定します。 1000 た新ロマンジョンを マンジョンに 用 するとフィルは信求します。このよき、強制ロッ ク を新口います。 2 または 0 0とき、強制ロッ ク を新田でいます。 ションに情報を アプリケー アシーンは情報を ペーストするに 1000		🗙 kterm		_ 🗆 ×
は、カーソルを合 わせてからマウス のボタンを両方同 時にクリックしま す。 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	 ヒント クリップボードから、アプリケー ショーストする合 、せてタンマク 、せての なた 、 なた 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	4000 20#0 1000 0400 0200 0100 0070 0007	実行時にユーザ ID を設定します。 まが T、5、3または 1 のとき、実行時に グ ループ ID を設定します。 まが 6、4、2 または 0 のとき、強制ロック を許可しまたしたいでの BSD のセマンティイズに基づい でファイレットリに対して使用されると、ブループ ID の伝播についての BSD のセマンティイズに基づい でファイルは作成されます。このオブンタンを使 日本のすくしいにの BSD のセマンティイズに基づい でつすうしたはなれます。このオブンタンを使 のた場によると、シンボリック モードでのみグ リ そのものまたるまた。 が有者によることでは、日本のでの検索)を許 可します。 の所有者による読み取り、書き込み、実行(検索) を許可します。。	

▼2 情報をペーストしたいドキュメントで、挿入する位置にカーソルを合わせます。

▼3 [編集] メニューの [貼り付け] をクリックします。

	Xkterm		_ 🗆 🗙
	1000	7できます。 ネティッキビットをオンにしま す chmod(2) 参	
☆ 参照	0400 克 0200 克	50 「有者による読み取りを許可します。 「有者による書き込みを許可します。	
端末エミュレータ	0100 🕅	所有者による実行(ディレクトリ内での検索)を 許 TLLます	
上の情報もコピー	0070 2	がしープによる読み取り、書き込み、実行(検索)	
アンドペーストで	0007	(計りしょう。)	×
きます。詳細につ		ファイル(E) 編集(E) 検索(S) ヘルフ(H)	
いては、ヘルプの	シンボリック 🚾	スティッキビットをオンにしま す	<u></u>
キーワードで「コ	chmod [🌆		
ピー」と「貼り付	継続(21%)		
け」を参照してく		त	9 1
ださい。	2		

ドキュメントに新しい情報が表示されます。

フォント代替機能の使用

デフォルトではフォント代替機能が使えます。そのため、Xアプリケーションから 要求されたフォントが自分の PC (またはフォントサーバ) に存在しない場合には、 Xサーバによって自動的に他のフォントに置き換えられます。フォントの代替を自 分である程度コントロールしたい場合は、Xサーバの [プロパティ]ダイアログボッ クスの [フォント] タブで [確認] をクリックします。対話型のフォント代替機能が有 効になる範囲は、ひとつのリクエストだけ、ひとつのセッション内のすべてのリ クエスト、または常時のどれかを選択できます。あるフォント代替を常時有効に するためには、[フォントパス] リストに [Global aliases] が必要です。

フォントフォルダエデヤタ ? ×
エイリアス フォント
I-1U77;
10x20 12x24 12x24 12x24ana 12x24romankana 5x7 5x8 6x10 6x12 6x13 6x13 6x13bold 6x9 ▼
× 調理ノオノト: -misc=fixed=medium=r=normal==20=200=75=75=c=100=iso8859=1
フォントファイル、 1mx20.fon
OK ++/セル 更新(2) ^ル7*

アプリケーションから要求されたフォントが使えないと、代替フォントの候補を 示すダイアログボックスが表示されます。

フォントの代用		×
見つからないワォント	myfont	提案
学習設定(S):	fixed	キャンセル
提案するモード(<u>M</u>):	このセッションのすべてのリクエストに対して有効	^///7°(<u>H</u>)
🗌 引き続きりライアント	こ自動でエリアスを付ける(<u>C</u>)	
- 提案		
//*፟ጶー'/(<u>P</u>):		提案(G)
最大提案数⊗:	50	
fixed		
<u> </u>		
~7°l/t*1=		
Sample text: AaB	bCcXxYuZz123789	

候補を受け入れるか、別のフォントを[提案]リストから選択します。最初に表示 されたフォントの候補の中に適当なフォントがない場合は、使用可能なフォント すべてを手動で検索することができます。そのためには、[パターン]ボックスに検 索パターンを入力します。ワイルドカードを使うこともできます。フォントの論 理的な記述の一部を、[見つからないフォント]ボックスから[パターン]ボックスへ Windows のコピーアンドペーストの方法でコピーすることができます。コピーし たいテキストを選択してから、Control + Insert を押します。コピー先を選択して Shift+Insert を押します。[提案]をクリックすると新しい候補リストが表示されま す。

☆ 参照

X アプリケーションの使用についての詳細は、『ユーザーマニュアル・詳 細編』の「Xサーバ」の章を参照してください。

UNIX サーバの内容の表示

UNIX コンピュータにあるファイルとフォルダを表示することができます。

Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 で UNIX サーバの 内容の表示

[UNIX ネットワークコンピュータ] または [ホストエクスプローラ] を使うと、 UNIX コンピュータの内容を確認できます。

Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 で UNIX サーバの内容を表示するには



◀1 デスクトップで [Unix ネットワークコンピュータ] をダ ブルクリックします。

 Unix ネットワー ファイル(E) 編 	-ウコンビュータ 集(E) 表示(V)) ^//フ [°] (H)		<u>- 🗆 ×</u>
- Unix ネ	 ットワークコンビ゜ュ		•	
				-
albatross	azarashi	bear	d00	

himawari	impulse	[iruka]	jugon	-
•		- 51 . 4 14 -		

- ◆2「コントロールパネル」 「Visionコミュニケーション」 の「ホスト」に登録されている UNIX サーバのすべてがウィン ドウにアイコンで表示されま す。
- Unix ネットワークコンピュータ
 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルフ^{*}(H)
 Unix ネットワークコンビ[®]ュータ
 ID III ネットワークコンビ[®]ュータ
 III IIII IIII IIII IIII IIIII
 albatross azarashi bear 800
- <mark>認証 ? ×</mark> 2-ザ*名(U): ハ*スワート*(P): doo の認証

◀3 表示したいホストのアイコンを ダブルクリックします。

◀4 そのホストに初めて接続した場合は、ユーザ名とパスワードを入力するように要求されます。

▼5 ホストにある自分のホームフォルダの内容が、ウィンドウに表示されます。



ホストエクスプローラを使った UNIX サーバの内容の表示

UNIX サーバの内容を確認するもうひとつの方法は、ホストエクスプローラ を使います。この場合、そのコンピュータの内容が階層状またはツリー構 造で表示されます。UNIX サーバ上のフォルダとファイルを簡単に把握する ことができます。

フォルダの階層を表示するには

▼ 1 [スタート] メニューをクリックし、[プログラム] をポイントします。次に、 [CentreNET X Vision] をポイントし、[ホストエクスプローラ] をクリックし ます。



▼2 ウィンドウの左側のホストをクリックします。このホストに初めて接続した 場合は、ユーザ名とパスワードを入力するように要求されます。

ヒント ホストエクスプ ホスラを開くした、 [Unixネットワーク] コンピュータ]アイ コンをでクリッイ ボタンに[エクスプ し、次に[エクスプ します。

🎭 表示 - //albatros/users/reiji/Myfolder	_ 🗆 ×			
ファイル(Ĕ) 編集(Ĕ) 表示(∀) ヘルブ(Ħ)				
Myfolder 🔹	XBR			
□ □ reiji ■ ■ 私のドキュメント				
📄 💼 .odtpref 🛛 🗐 私のメモ				
🗄 🛄 .xdt_dir				
E Myfolder				
へルフ を見るには、[ヘルフ]メニューの[トビックの検索]を切っりしてください。 //				

ウィンドウの右側に、マウスの左ボタンでクリックした項目の内容が表示されます。

Windows NT 3.51 でのホストマネージャの使用

ホストマネージャ を使うと Windows NT 3.51 で UNIX サーバの内容を表示できます。

ホストマネージャを使って UNIX サーバの内容を表示するには



◀1 プログラムマネージャの [CentreNET X Vision] グループ を開き、[ホストマネージャ] アイコンをダブルクリック します。 ▼2 ウィンドウに、PC のディスク、Windows のドライブが接続されていればそ のドライブ、および現在設定されている UNIX ホストが表示されます。

nosi Manager – nosis	
_ ファイル(E) セッション(<u>S</u>) 表示(V) ウィンドウ(₩) ヘルプ(<u>H</u>)	
🎽 漢A瞷 百亩 🍸 🖿 🔀 🖬 💵	
🖻 Hosts 🔽 🗖	
(近) MS-DOS_6 (0.) (D.) (E) 'Sety'の共有 用(F)	
Saty'(7) "Albatros" (7) albatros ashika d00 Eclipse (02) Xv7doc (1:)	
^ルプを見るには、[ヘルプ]メニューの[トピックの検索]をクリックして<	
Host Manager - Hosts	
ファイル(F) ビッション(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	◀3 表示されている項目の内容を見
	るには、その項目をダブルク
	リックします。
(ル) MS-DOS_6 (ロ) (D) (E) 'Saty'の 共有 用(P)	
Saty Ø Albetros Ø Statros ashika d00 Eclipse (G) Xv7doc U	
ヘルフを見るには、「ヘルフ")メニューの[トビックの検索]をクリックして<	
- 認証 ?	◀4 UNIX ホストを選択した場合、
	そのホストへの接続が初めてな
/* አም~ト* (P) :	らばユーザ名とパスワードを入
albatros Ø22EE	力するように要求されます。

▼5 ホストにある自分のホームフォルダの内容が、ウィンドウに表示されます。

🗕 🛛 Host Manager	- /users/cvision/ - alt	atros	▼ ▲
ファイル(<u>F</u>) セッション(<u>S</u>) 君	辰示(V) ウィンドウ(₩) ヘノ	いで(<u>H</u>)	
送▲ 1881 晋 晋	🖻 🗈 🔀 🎫		E
	Hosts	~	
_ _ /us	sers/cvision/ — albatros		▼ ▲
"⊟`ם/	★ 27114名	279669972	977
🗄 🛁 users	wastebasket 📄	Folder	
atechs	cshrc	Unknown	1068
🖂 🚊 📥 cvision -	nigoblact 🗍 📕	Unknown	0
'Saty 🛄 🐙 🔒	niaol 🗍	Unknown	934
Eclipse 📄 hirose			
	+		
+ +	+		+
ヘルフ を見るには、[ヘルフ]メニュー	の[トビックの検索]をクリックして<		

ファイルの種類の区別

ホストエクスプローラとホストマネージャに表示されるフォルダとファイルに は、数種類のアイコンが使われています。

アイコン	意味
	フォルダ。ファイルと他のファイルを含むことができます。
	ファイル。ユーザが使用および作成するドキュメントと、使 用するプログラムはどちらもファイルです。ファイルの種類 によってアイコンも異なることがあります。ここに示した標 準の (汎用) アイコンは、そのファイルの種類に特定のアイコ ンが関連付けられていないときに使われます。
	VT420 端末エミュレータで実行されるプログラム
	端末との接続がない状態で実行されるプログラム
a	ASCII テキストのドキュメント

これ以外にも特定のアイコンが決まっているファイルの種類がセットアップで設定されます。また、ユーザが自分で追加することもできます。

プログラムまたはドキュメントを開く

アイコンをダブルクリックすると、フォルダならば内容を見ることができ、プロ グラムならば実行され、ドキュメントならば開くことができます。

[ホストエクスプローラ] または [ホストマネージャ] からプロ グラムを実行する、またはドキュメントを開くには

▼ [ホストエクスプローラ] または [ホストマネージャ] で、開きたいファイルを 見つけてダブルクリックします。

ファイルが実行可能プログラムであると認識されると、それに応じた端末エ ミュレータかリモートプログラムスタータが PC で起動され、UNIX サーバ上 でプログラムが実行されます。ファイルがドキュメントの場合は、UNIX プ ログラムが起動してからそのドキュメントが読み込まれます。その UNIX プ ログラムが X アプリケーションの場合は、PC で X サーバが実行中でなけれ ば起動されます。

ファイルが登録済みのファイルの種類のどれでもないと判断されると、[条件 付きで開く] ダイアログボックスが表示されます。ここで、そのファイルを 表示するのに使うアプリケーションを選択します。

ファイルを開くアブリケーションの選択 ? ×
ファイル ゙ュwpmon_lcK を開くアフリケーションを違んでください。 使いたいアフリケーションが一覧にない場合は、[その他] を押して ください。
(.lck' ファイルの説明(<u>D</u>):
このファイルを開くアフリケーション(<u>C</u>):
<pre>\$ if x if x if y if y</pre>
┏ このファイルを閉くときは、いつもこのアフリケーションを使う(U)

ウィンドウの表示形式の変更

ウィンドウの表示形式を変更することができます。

ウィンドウの表示形式を変更するには

▼ [表示] メニューで、[小さいアイコン]、[一覧]、[詳細] のどれかのコマンドを クリックします。



ファイル(E) 編集(E)	表示⊙ ^ルプ⊞	
Unix לאיך 🗐 🗐	 ✓ ツールバー(T) ✓ ステータスパー(S) 	- 🔳 🐰
	 大きいアイロン(G) 小さいアイロン(M) 	
albatross	· 一覧(L) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ka jug
	アイコンの整列(1) ・	
scod	応答の表示(<u>H</u>)	
•	最新の情報に更新(<u>R</u>) オブション(<u>O</u>))
小さなアイコンを使って	174を表示します。	

これは、[大きいアイコン]による表示です。

ひとつ上のフォルダの表示

ひとつ上のフォルダを表示することができます。

ひとつ上のフォルダを表示するには



◀1 ツールバーが表示されてい なければ、[表示] をクリッ クしてから [ツールバー] を クリックします。

▶2 ツールバーで 💼 ボタンをクリックするか、Backspace キーを押します。

詳しい使い方

2



基本事項をマスタし、X Vision の設定方法を詳しく 知りたいときや高度な機能を使いたいときに、この 章を参照してください。

この章では、自分の PC で好みのウィンドウマネー ジャを実行し、X ディスプレイにする方法を説明し ます。また、リモート印刷の設定についても説明し ます。X Vision を使って UNIX サーバ上のファイル を整理することもできます。

この章の内容

X Vision の設定	33
Motif または OPEN LOOK の使用	40
ファイルとフォルダの整理	41
印刷	49
トラブルシューティング	56

X Vision の設定

🛷 参照

クします。

ある疑問符をク

Windows のコントロールパネルを使うと、以下の設定を変更できます。

- Vision コミュニケーション
- Vision サービス
- X Vision プロファイル

X Vision のプロファイルを設定することによって X サーバのオプションを指定す ることができます。

コントロールパネルを使って X Vision を設定するには

- ▼1 以下のいずれかを実行します。
 - Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定]をポイントします。次に、[コントロールパネ ル)をクリックします。
 - バージョン 4.0 より前の Windows NT の場合は、プログラムマネージャで [メイン] グループを開き、[コントロールパネル]のアイコンをダブルク リックします。



▶ 2 [Vision コミュニケーション]、[Vision サービス]、[X Vision プロファイル] のいずれかをダブルクリックします。

Vision コミュニケーションの設定

Vision コミュニケーションの設定では以下を指定できます。

- [ホスト] 接続して UNIX プログラムを実行します。
- [トランスポート] PC をリモートの UNIX ホストに接続するときに使います。
- [データベース] Vision コミュニケーションのデータベースに対してアク セスできます。
- [診断] トラブルシューティング情報を提供します。

これらの設定は変更しないでください。

	Vision コミュニケーション		? ×
	ホストトランスホート	文字セット データベース 診断	
	ホストの設定	Ē	
	ホ スト	トランスホペート	
	📒 albatross	Automatic	
☆◇ 参照	1 azarashi	Automatic	
トランスポートの	bear	Automatic	
設定について詳細	100 d00	Automatic	
はこの音の	1 falcon	Automatic	
	grouse	Automatic	
ダイヤルアップ	1 hark	Automatic	
を参照してくださ	Hinowari	Automotic	
ί 1 _ο	追加(<u>A</u>)	<u>削除(R)</u> フ [*] ロハ*ティ	(<u>P</u>)
	ОК	キャンセル 更新(点)	^/↓7*

ネットワークに接続していると、X Visionソフトウェアが実行されているすべての ホストと、X Display Manager (xdm) デーモンが実行されているホストがホスト ファインダによって検出されます (「Vision サービスの設定」を参照)。デフォル トでは、ホストへの接続に使われるトランスポートは接続が開いたときに使用可 能なものの中から自動的に選択されます。

Vision サービスの設定

Vision サービスの設定によって、以下を指定できます。

- [共通] Vision サービスを手動で起動または停止できます。また、起動時 にバナーを表示できます。
- [LNA] PC から必要に応じてサーバのプログラムを起動できます。
- 「ホストファインダ] リモートホストを検出し、自動的に設定できます。
- [管理] 管理ホストに接続し、変更があれば PC を更新します。
- [印刷] ローカルおよびリモートの印刷サービスを実現します。

デフォルトでは、X Display Manager (xdm) デーモンが実行されているホストがホ ストファインダによって検出されます。ホストのカテゴリは、[ホストタイプ] ボックス内のチェックボックスをクリックして選択します。[LNA] タブと[管理] タブの設定は変更する必要がないはずです。また、[印刷] の設定はこの章で後述 します。

Vision サービス	? X
共通 LNA ホストファインダ 管理 印刷	
↓↓ ホストファインタンはリモートホストを検出し、それらを 自動的に構成します。	
_ スタート時の設定	
[設定を有効にする(E) インターバル(1): [): [)	
□ ウインドウを表示する(<u>S</u>) 30 mins	
ホストタイフ [*] (<u>H</u>):	
☑ Vision Hosts	
☑ XDM Hosts	
Echo Hosts	
Modem Y	
OK キャンセル 見新会 へル	7

X Vision プロファイルの設定

[X Vision プロファイル] ダイアログボックスを使うと、以下を設定できます。

- [一般] プロファイルを作成または変更できます。また、Xサーバが起動したときに使うプロファイルを指定できます。
- [共通] Windows が起動したときに X サーバを起動するかどうかと、セキュリティのオプションを指定します。

X サーバをシングルウィンドウモードで使うのでなければ、これらの設定は何も 変更する必要はありません。

tVision 7°0771∥ ? 🗙
一般】共通】
現在以下のブロファイルが用意されています
XRemote
XVision
OK キャンセル 更新(g) ヘルフ*

注意 X サーバは、複数のプロファイルを用意して各プロファイルで別の [X ディスプレイ番号] を指定することによって、複数のインスタンスを実行 できます。しかし、マルチウィンドウモードのセッションを複数実行する ことはできません。

アクティブな X サーバの設定

アクティブなXサーバはプロパティを変更することによって設定できます。

アクティブな X サーバを設定するには

以下のいずれかを実行します。

- サーバが非表示で実行中の場合は、タスクバーのインジケータ領域にある X サーバのアイコンをマウスの右ボタンでクリックしてから [プロパティ] をクリックします。Windows NT 3.51の場合は、ルートメニューを表示し て [プロパティ]をクリックします。
- サーバが非表示でない場合は、タスクバーにある [X サーバ] をマウスの右 ボタンでクリックしてから [プロパティ] をクリックします。
- サーバがシングルウィンドウモードで実行中の場合は、[コントロール]メニューをクリックしてから [プロパティ] をクリックします。

ダイアログボックスが表示され、現在のプロファイルの名前がタイトルバーに表示されます。タブキーを押すと、サーバのプロパティが切り替えられます。[OK] をクリックすると、変更が保存されてプロパティのダイアログボックスが閉じます。ダイアログボックスを閉じる前に変更内容を反映させるには、[更新]をクリックします。

変更のほとんどはすぐに反映されますが、表示モードの変更などは X サーバを 再起動しないと反映されません。再起動が必要な場合には、すぐに X サーバを 再起動するかどうかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。再起動するな らば [はい] ボタンをクリックします。アクティブなクライアントが存在する場 合は、[いいえ] を選んでクライアントを終了させてから、[コントロール] メ ニューの [再起動] コマンドを使ってサーバを再起動することをお薦めします。

X サーバのプロパティの設定

X サーバのプロパティは、サーバの外見と動作、および X クライアントが画面に どのように表示されるかをコントロールします。X サーバのプロパティを設定す るには、[X Vision プロファイル] ダイアログボックスでプロファイルを変更する か、アクティブな X サーバを設定します。既にアクティブになっている X サーバ は、その起動に使われるプロファイルを変更しても反映されません。しかし、ア クティブな X サーバに対してプロパティを変更すると、変更内容はそのプロパ ティに保存され、次にそのプロファイルを使って X サーバを起動するときに反映 されます。

プロパティ: XVision ?X
クリップボード グラフィック カラー 診断 Vision Resume 日本語入力 ディスプレイ サーバ トランスボート フォント セキュリティ デバイス
モードの: で 7ルガベトウω の シングルウベルトウ(s) 拡張機能
□ 仮想ルート①
小さく 🕽 大きく 1024 by 768 ビウセル
□ カスタム: 1024 票 × 768 票 ビクセル
OK 手が地ル 更新会) へルフ*

タブキーを押すと、サーバのプロパティを切り替えることができます。オプションの一部は、別のオプションを選択していないと指定できません。指定できない オプションはグレー表示されます。グレー表示されているオプションが使用可能 になると、初期設定のデフォルトが示されます。

X サーバの起動

通常、X サーバは Windows が起動すると自動的に起動されます。サーバが自動的 に起動されないようにするには、Windows のコントロールパネルで [X Vision プ ロファイル] をダブルクリックし、[共通] タブをクリックして、[Windows 起動時 にXVsionをロードする] オプションを無効にします。X サーバは、プログラムス タータを使って X クライアントを起動した場合も自動的に起動されます。

X サーバを手動で起動するには

以下のいずれかを実行します。

- [スタート] メニューをクリックし、[プログラム] をポイントします。次に、[CentreNET X Vision] をポイントし、[X Vision サーバ] をクリックします。
- 古いバージョンの Windows では、プログラムマネージャで [CentreNET X Vision] グループを開いて [X Vision サーバ] アイコンをダブルクリックします。

サーバが起動します。非表示で実行するように設定されていると、Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 の場合はタスクバーのインジケータ領域 にインジケータが表示されます。

「stxclock /{kterm /xlogo /xedit //本語※ 午後	Axclock	Xkterm	X×logo	Xxedit	/ 4 32	午後 6:13
--	---------	--------	--------	--------	--------	---------

非表示で実行しないように設定を変更してあると、タスクバーかウィンドウに サーバが表示されます。

Motif または OPEN LOOK の使用

D ヒント

ローカルMWMは 「標準」セット アップではインス トールされませ ん。インストール 時に「カスタム」 を選択するか、追 加インストールす る必要があります (インストール編 をご覧くださ い)。その上で、[拡張ーシングルウ インドウモード]ダ イアログボックス で有効にします。

🔎 ヒント

X Vision をインストールしたときに作成したプロファイルでは、X サーバをマル チウィンドモードで実行します。このモードでは、X プログラムはそれぞれ独立 した Microsoft Windows のウィンドウに表示されます。X クライアントの管理に は、X サーバに組み込まれている VWM ウィンドウマネージャが使われます。こ れにより、X プログラムの見た目と使い心地は Microsoft Windows と同じになり ます。

標準の X ディスプレイに近い見た目にしたい場合は、X サーバをシングルウィン ドウモードで実行します。X アプリケーションが表示される Microsoft Windows のウィンドウはひとつだけになり、このウィンドウを PC の画面全体に広げること もできます。X Vision に付属しているローカルの Motif MWM などの標準的な X ウィンドウマネージャを使ったり、OPEN LOOK OLWM、HP-VUE、 DECwindows などのホストに依存するウィンドウマネージャを使うこともできま



シングルウィンドウモード用のプロファイルを作成するには

- ▶ 1 [X Vision プロファイル] ダイアログボックスで、新規プロファイルの基礎と して X Vision のプロファイルを選択します。
- ▶ 2 [コピー]をクリックして、新規プロファイルに"Single"という名前を付け ます。
- ▶3 [Single]を選択して、[プロパティ]をクリックします。
- ▶ 4 [シングルウィンド]をクリックします。
- ▶ 5 [OK] をクリックしてから、X サーバを起動すると必ず Single がプロファイ ルとして使われるか、起動のたびに入力を要求されるかを [X Vision プロ ファイル] ダイアログボックスで指定します。

🔊 参照

X セッションを起動 するのに X Display Manager を使う場 合は、ヘルプのキー ワードの「XDM」 を参照してくださ い。

ファイルとフォルダの整理

ここでは、UNIX サーバでのファイルとフォルダの使用、および PC と UNIX サー バの間でのファイルのコピーの手順についての詳細を説明します。Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 の場合は、Unix ネットワークコン ピュータかホストエクスプローラを使います。それぞれのプログラムについて例 を示してあります。バージョン 4.0 より前の Windows NT の場合は、ホストマ ネージャを使います。

Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 での Unix ネットワークコンピュータの使用

UNIX ファイルシステムの中でファイルの移動やコピーができます。また、ある UNIX システムと他の UNIX システムとの間、UNIX システムと PC との間でも 可能です。

[編集] メニューを使って移動またはコピーを行うには

Ω ヒント

複数のファイルや フォルダを選択す るには、コント ロールキーを押し たままクリックし ます。

- ▶ 1 移動またはコピーするファイルまたはフォルダをクリックします。UNIXの ファイルやフォルダは[Unixネットワークコンピュータ]の中で、Windows のファイルやフォルダは[マイコンピュータ]の中でクリックします。
- ▶ 2 [編集]をクリックし、移動する場合は[切り取り]、コピーする場合には[コ ピー]をクリックします。
- ▶ 3 切り取った、またはコピーしたものを貼り付けたいフォルダを開きます。 UNIXのフォルダは [Unixネットワークコンピュータ]の中で、Windowsの フォルダは [マイコンピュータ]の中で開きます。
- ▶ 4 [編集] メニューの [貼り付け] をクリックします。

マウスの右ボタンを使って移動またはコピーするには

- ▶ 1 移動またはコピーするファイルを、マウスの右ボタンでクリックします。 UNIXのファイルは [Unixネットワークコンピュータ]の中で、Windowsの ファイルは[マイコンピュータ]の中でクリックします。
- ▶ 2 移動する場合は[切り取り]、コピーする場合には[コピー]をクリックします。
- ▶ 3 ファイルを置くフォルダを開きます。UNIXのフォルダは[Unixネットワー クコンピュータ]の中で、Windowsのフォルダは[マイコンピュータ]の中で開 きます。次に、マウスの右ボタンでウィンドウの中の何も表示されていない 部分をクリックします。
- ▶ 4 [貼り付け]をクリックします。

マウスでドラッグする方が、すばやく情報をコピーできる場合もあります。

ドラッグによって UNIX のフォルダ間で移動またはコピーす るには

▶ 1 [ホストエクスプローラ]で、移動またはコピーするファイルが存在するホストとフォルダを開きます。



111 表示 - //albatros/users/reiji/PM6 7ァ(ル店) 編集(E) 表示(Y) へん?(E) - 🗆 × すべてのフォルダ ///albatros/users/reiji/PM6'の内容 - 🗊 Unix ネットワークコンビュータ 🛛 🗖 LESSON pmut16.dll albatros RSRC TABLEZS TABLEZS ALDFONTEFON ALDFONTEFON ALDFONTEFON ALDFSZDLL PMAIPSEDL PMAIPSED PMAIDE PMAID E- Cusers TABLE25J 🗄 📋 reiji .odtpref ⊕ _ _ _ .×dt_dir - 📄 IMG H C XV7 E-____grouseW95 E-_____ibis.new E-_____saty.bak toDLxv7 H- falcon H- iruka 移動(M) 声 11°-(C) 11°-02 ヘルフを見るには、[ヘルフ]メニューの[トビックの検索]を切っりしてください。

42 ファイルを移動またはコピーす る先のホストとフォルダを開き ます。

マウスの右ボタンで、コピー元 のフォルダからコピー先のフォ ルダへファイルをドラッグしま す。ドラッグし終わったらボタ ンから指を離します。

◀4 [移動] または [コピー] をクリッ クします。

ドラッグによって UNIX のファイルを PC に移動またはコ ピーするには

- ▶ 1 [Unixネットワークコンピュータ]で、移動またはコピーするファイルが存在 するホストとフォルダを開きます。
- ▶ 2 [マイコンピュータ]で、ファイルを移動またはコピーする先のホストとフォ ルダを開きます。



マウスの右ボタンで、コピー元 のフォルダからコピー先のフォ ルダへファイルをドラッグしま す。ドラッグし終わったらボタ ンから指を離します。

4 [移動]または [コピー] をクリッ クします。

ファイルまたはフォルダを削除するには

▼1 [Unix ネットワークコンピュータ]で、削除するファイルまたはフォルダをク リックします。

▲//albatros/users/reiji/PM6 ファイル(E) 編集(E) 表示(M) へルプ(E)	
ALDFONTEFON Additation ALDFONTEFON ALDFONTEFO	
小りを見るはま、「ヘルワンビューのバビッジの検索剤を外ックしてくたさい。 ノイabatros/users/reij/PM6 フナイルE) 編集(空) 表什付きで聞く(空) 関連付け(A) 新規(い) ・ PME6JWRI mt.dli Blba(m) ************************************	◀2 [ファイル] メニューの [削除] を クリックします。

Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 でのホ ストエクスプローラの使用

Windows 2000/Me/98/95 および Windows NT 4.0 では、ホストエクスプローラ を使って新規フォルダを作成できます。

新規フォルダを作成するには

▼ 1 [ホストエクスプローラ] で、新規フォルダを作成する場所のフォルダを開き ます。





▶ 4 新規フォルダの名前を入力し、Enter キーを押します。

Windows NT 3.51 でのホストマネージャの使用

Windows NT 3.51 では、[ホストマネージャ] を使ってファイルやフォルダをコ ピーまたは削除したり、フォルダを作成できます。

ファイルやフォルダをコピーするには

▼ 1 [ホストマネージャ]で、コピーするファイルかフォルダをクリックします。



◀2 ツールバーにあるボタンで、テ キスト転送かバイナリ転送かを 選択します。

😑 🛛 Host Manager – /use	rs/cvision/ -	albatros	•
<u>ファイル(F)</u> セッション(<u>S</u>) 表示(V)	ウィンドウ(<u>₩</u>)	ヘルプ (<u>H</u>)	
条件付きで開く(<u>W</u>)			
アプリケーションとの関連付け(<u>A)</u> アプリケーションとの関連付けを解	晔余(<u>U</u>)		▲ +
閉じる(<u>C</u>)		P711912	▼ ▲ サイズ
新規フォルダ(N)	Ctrl+	Folder	
フォルダ"移動(Q)		Inknown	1068
削除(<u>D</u>)	Del	Jnknown Jnknown	934 0
名前の変更(<u>N</u>) プロパラン(D)			+
· / b/i /i(<u>r</u>)			
של"-(Y)	F8		-
プログラムマネージャへコピー(<u>M</u>)			
アプリケーションの終了(<u>X</u>)			

◀3 [ファイル]メニューの[コピー] をクリックします。

- ▼4 現在選択されているファイルが、ダイアログボックスの [送信元] に表示されます。
- ▼5 [送信先]ボックスで、ドロップダウンリストからホストを選択します。

⊐t°-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ovision	OK
albatros	4+)till
私のメモ	∿⊮7*⊕
local	
リも北°−する(<u>©</u>)	
	コピー ovision 私のメモ Iocal ま したー

◄ 6 [送信先フォルダ]ボックスに、 ファイルとフォルダをコピーす る先のフォルダのフルパスを入 力し、[OK]をクリックしま す。

▶7 [転送中]ダイアログボックスが表示されて、転送状況が示されます。

コピー元のシステムでのファイル名がコピー先では有効でない場合は、指定 したオプションに応じて、有効な名前が作成されるか有効な名前を入力する ように要求されます。オプションを指定していないと、コピーによってエ ラーが発生することがあります。

マウスを使ったドラッグアンドドロップによってファイルを移動したりコピーす ることもできます。

ファイルまたはフォルダを削除するには

▼1 [ホストマネージャ]で、削除するファイルまたはフォルダをクリックします。



◀2 [ファイル]メニューの [削除] を クリックします。

😑 🛛 Host Manager - /use	rs/cvision/ -	albatros	T
ファイル(F) セッション(S) 表示(V)	ウィンド゛ウ(₩)	ヘルプ (<u>H</u>)	
条件付きで開く(<u>₩</u>)		H	₽ E M
アプリケ-ションとの関連付け(<u>A)</u> アプリケ-ションとの関連付けを解	晔余(<u>U</u>)	•	•
閉じる(<u>C</u>)		1711917	▼ ▲
新規フォルダ(N)	Ctrl+	N ^{Folder}	10.00
フォルダ移動(@)		Jnknown Jnknown	0
削除(<u>D</u>)	Del	Jnknown Jnknown	934 0
名前の変更(<u>N</u>)			
プロノペティ(<u>P</u>)			
コピ°-(Y) プログ [™] ラムマネーシ [™] ヤヘコピ°-(<u>M</u>)	F8		///
アプリケ-ションの終了(X)			

▶ 3 選択したファイルが[名前]ボックスに表示されます。[OK]をクリックします。

次の手順に進む前に操作を確認するように要求されます。

フォルダを作成するには

▼1 [ホストマネージャ]で、新規フォルダを作成する場所のフォルダを開きます。



▶ 2 [ファイル] メニューの [新規 フォルダ] をクリックします。

\wp ヒント
新規フォルダのプ
ロパティを設定す
るには、そのノオ
てから、ファイル
メニューの [プロパ
ティ]をクリックし
ます。

🗕 🛛 Host Manager – /	users/cvis	ion/ – al	batros	-
ファイル(F) セッション(S) 表示(V) 972F	^ウ(<u>₩</u>) ^	ルプ(<u>H</u>)	
開く(<u>O</u>)		P = 3		Ģ E ₩
閉じる(<u>C</u>)			•	-
新規フォルダ(<u>N</u>)	Ctrl+N	batros		
フォルダ移動(<u>Q</u>)			779149977	サイス
削除(<u>D</u>)	Del		Folder Unknown	1068
名前の変更(<u>N</u>)			Unknown	0
רי (P)			Unknown	0
⊐Ľ°-(Y)	F8		,	
				+
アプリケ-ションの終了(<u>X</u>)				

▶3 指定された領域に新規フォルダの名前を入力します。

印刷

X Vision を使うと、Windows と UNIX のアプリケーションでプリンタを共有でき ます。UNIX アプリケーションから PC に接続されたプリンタに印刷することも、 Windows アプリケーションから UNIX のプリンタに印刷することもできます。

さらに、X Vision の端末エミュレータには実際の端末と同じようにスレープ印刷 機能を持っているものもあります。この機能を使うには、ヘルプのキーワードの 「端末エミュレータからの印刷」を参照してください。

PC での UNIX のファイルの印刷

PCのPrintサーバは印刷要求を受け付け、PCに接続されているローカルプリンタ に印刷します。X Visionをインストールすると、標準のLPD印刷サービスを使う ように設定された Defaultという名前のローカルプリンタが用意されます。LPD 印刷サービスは、さまざまなUNIXのTCP/IPネットワークによる接続環境でサ ポートされています。印刷要求が送信できるようにするには、システム管理者が PCのプリンタをUNIXホストのリモートプリンタとして設定する必要がありま す。ヘルプのキーワードの「UNIX上のプリンタ設定」を参照してください。

TCP/IP ネットワークを使っていない場合、または LPD サービスをサポートして いない UNIX ホストの場合には、印刷できません。

ローカルプリンタの種類を変更するには

▼ **1** Windows のコントロールパネルで [Vision サービス] をダブルクリックし、[印刷] タブをクリックします。

		_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(v	り ^ルブ(<u>H</u>)	
🛐 32 ビット ODBC	👒 ハートウェア	
B ODBC	🐘 パスワート	
🂫 Vision コミュニケーション	🛃 フォント	
Vision サービス	🚘 ጋሣンタ	
☞×Vision プロフゥ╅ル	גלד 🚫	
12 アフリケーションの追加と削除	🏰 マルチメディア	
👰 インターネット	🚇 メールとファックス 👘	
💼 +	🥮 स्त्रीय	
■● サウント	💽 ユーザー補助	
🚚 9774	📑 画面	
デスクトッフ* テーマ	🧕 地域	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	😽 日付と時刻	
」 Vision サービスを設定します。		
,		

▼ 2 [プリンタ] ボックスで [Default] をクリックしてから、[編集] をクリックします。

Vision サービス			? ×
────────────────────────────────────	ァインダ 管理	印刷	
7*92% 9t-17	ナーバは、ロー: ゙リントの機能:	カルプリントおよび を提供します。	
- スタート時の設定―			
▶ 設定を有効にす	する(<u>E</u>)		
□ ウインドウを表示	する(<u>s</u>)		
⊉Default		ローカルプリンタ追力	∎(_)
		リモートプリンタ追力	₫(<u>R</u>)
		編集(工)	
		削除(<u>D</u>))
OK	キャンセル	更新(<u>A</u>)	^ル7°

▼ 3 [プリントタイプ] ボックスで、ドロップダウンリストから [LPD プロトコル] を選択します。

ローカルフリンタを編集		? ×
論理プリンタ名(<u>L</u>):	Default	OK
物理プリンタ名(Ⴒ):	EPSON LP-9000 on ¥¥SATY¥	4+)till
プリンタの種類(<u>T</u>):	LPD Protocol LPD Protocol RPC Protocol つ ラインプリンタのモート [*] (g)	<u>∿⊮7°⊕</u>

▶ 4 必要に応じて他のオプションを変更します。

UNIX での PC のファイルの印刷

X Vision を使うと、離れたところにある UNIX プリントサーバに接続されたプリ ンタに Windows のアプリケーションから印刷できます。印刷ジョブは UNIX の スプーラによってスケジュールされます。PC のプリントサーバはクライアントプ ログラムとして働き、これによって印刷要求が UNIX ホスト上の印刷サーバに送 られます。クライアントから印刷要求の送信は、LPD プロトコルだけを使用可能 です。

参照 ダイアログロック ス内の項目に表示に関すするへいプでも上での るへには、お子でもしていた。 そのの項目でから、 その項目をクリックします。 UNIX のリモートプリンタを設定するには、以下の3つを行います。

- UNIX ホストで、PC から印刷要求を受け取るプリンタを設定します。たとえば、プリンタの名前を room123 と指定します。
- 2 Windows のプリンタを新規に追加し、出力が PC 上のファイルに送られるようにします。
- 3 Vision サービスでリモートプリンタを設定します。 リモートプリンタを設定している場合は、ローカルプリンタと同様にWindows アプリケーションでリモートプリンタを選択すればそのプリンタへ印刷するこ とができます。

Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 でプリン タを追加する方法



▶3 プリンタウィザードが起動するので、指示に従って新規プリンタを設定しま す。[ローカルプリンタ]を選択してから、UNIXシステムに接続されている プリンタの種類を選択します。ポートを選択するように要求されたら、リ モート印刷に適したポートがなければ一時的に [LPT1]を選択します。例え ば、QMS-PS810 といった具体的なプリンタ名を指定します。テストページ は印刷しないように指定します。



◀4 ウィザードが終了すると、新し いプリンタが [プリンタ] ウィン ドウに表示されます。



◆5 新しいプリンタのアイコンをマ ウスの右ボタンでクリックし、 [プロパティ]をクリックしま す。

- ? × 7#7/ デバイス オプション 1 PostScript 情報 詳細 共有 用紙 グラフィックス ? X 追加するポートの種類を選んでください。 ○ ネットワーク(N) フリンタへのネットワーク パス: ④ その他(0) 追加するポートの種類 ローカル ホペート ? × 小名 接続先のポート名(E): OK. c:¥tmp¥unixprt.tmp キャンセル キャンセル OK
- ◀6 [詳細] タブの [ポートの追加] を クリックします。

- ◀7 [その他]をクリックし、リスト ボックスで [ローカルポート] を 選択します。[OK] をクリック します。
- ▲8 新規のポート名としてファイル 名を入力します。たとえば、 「c:¥tmp¥unixprt.tmp」などを 入力します。[OK]をクリック します。
- ▶ 9 [印刷先のポート]に新規の"ポート"が表示されます。[OK]をクリックして [プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

これで、Visionサービスでリモートプリンタを追加する準備ができました。 この手順はこのセクションで後から説明します。

Windows NT 3.51 でプリンタを追加するには



▼3 [プリンタの作成]ダイアログボックスに、プリンタ名、ドライバを正しく設定し、印刷先の[その他]を選択します。

	プリンタの作成	
ブリンタ名(<u>N</u>):	CANON	OK
ドライバ(<u>D</u>):	Canon LBP-A404PS Lite 👱	1+>2tl
説明(<u>E</u>):	Unix Printrt from XVision Eclipse	
印刷先(_):	FILE:	₩-h設定(<u>G</u>)
┌──ネットワー	LPT3: COM1:	<u>^ル7(H</u>)
共有名(<u>A</u>):	COM2: COM3:	
設置場所([):	その他	

 ▼ 4 [印刷先]ダイアログボックスの利用可能な印刷モニタの中から[Local Port]を 選択します。

利用可能な印刷モニタ(<u>A</u>): Digital Network Port Local Port その他	OK キャンセル ヘルプ(<u>H</u>)

▼5 [ポート名]ダイアログボックスに[C:¥tmp¥unixprt.tmp]などのファイル名を ポートとして追加します。

<mark></mark> ポー	卜名
ポート名の入力(<u>E</u>): c:¥tmp¥unixprt.tmp	OK キャンセル ヘルプ(<u>H</u>)

6 これらの設定で、Windowsに印刷ポートが作成されます。

これでVisionサービスでリモートプリンタを追加する準備ができました。 この手順はこの章の後で説明します。



Vision サービスでリモートプリンタを設定するには

◀1 Windowsのコントロールパネルで、[Vision サービス]をダブルクリックします。次に、[印刷] タブをクリックし、[リモートプリンタ追加]をクリックします。

- ▼2 [論理プリンタ名] ボックスに新しい名前を入力します。
- ▼ 3 [物理プリンタ名] ボックスで、先ほど設定した Windows のプリンタを選択 します (たとえば、ポートとして"c:¥tmp¥unixprt.tmp"を使う UNIX 上の "QMS-PS810")。
- ▼ 4 リモートホストとリモートプリンタの名前を指定します (たとえば、 "room123")。
- ▼5 選択した UNIX ホストに PC から印刷データを送信するときの通信プロトコ ル (LPD)を指定します。LPD プロトコルを使う場合は、自分の PC のネット ワーク上の名前をホストの /etc/hosts.equiv か /etc/hosts.lpd に追加する必 要があることがあります。ホストに付属している LPD に関するマニュアル を参照してください。

☆ 参照	新規フリンタの追加		? ×
ダイアログボック	論理プリンタ名(<u>L</u>):		0K
ス内の項目に関す	物理ブリンタ名(<u>P</u>):	Canon LBP on UNIX on c:¥	\$pyell
るヘルブを表示す	リモートホスト:名(H) :		
るには、石上隅に ある疑問なた力	UT. k=*U.dr.2 (n) .		<u>^₩2'(H</u>)
リックしてから	りモードノ リノツ-白(座):		
その項目をクリッ	プリンタの種類(<u>エ</u>):	LPD Protocol	
クします。			

トラブルシューティング

Vision ソフトウェアの使用中に問題が発生した場合は、ヘルプのキーワードの「トラ ブルシューティング」を参照し、その手順に従って問題を解決してください。以下のト ピックが扱われています。

- リモートホストに正しく接続できない場合
- UNIX ホストがひとつも見つからない場合
- 正しく印刷できない場合
- X クライアントを起動できない場合
- X クライアントの実行中に問題が発生した場合

また、問題を解決できないときにテクニカルサポートに連絡する方法も示されています。

高度な使い方

3



ここでは、X Vision によって可能となる追加機能の いくつかと、UNIX のアプリケーションを Windows のデスクトップに統合する方法についてのヒントを 示します。

デスクトップのゾーンへの分割、UNIX のデータか らWindows ドキュメントにリンクする方法を説明し ます。

これらの注目すべき機能の詳細については、『ユー ザーマニュアル・詳細編』またはオンラインヘルプ のトピックを参照してください。

この章の内容

UNIX ショートカットの Windows デスクトップへの設定

Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 では、頻繁に使うドキュメント やプログラムへのアクセスはショートカットによって簡略化することができま す。X Vision では、UNIX アイテムへのショートカットを直接 Windows のデスク トップや画面のバックグラウンドに置くことができます。ショートカットは、 フォルダ、プログラム、またはドキュメントに対して作成できます。

ショートカットを作成しても、そのファイルの位置がUNIXサーバ上で変更された り、PC にコピーされません。ショートカットを削除しても、元のファイルは削除 されません。ファイルを削除しても、ショートカットが自動的に削除されません。

ショートカットをデスクトップに置くには

- 🗧//albatros/users/reiji/PM6 퉠 - 🗆 🗵 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルブ(H) ネットワーク コンドシーク <u>%</u> 🖻 PM6 **E** • PM6REG.TXT LESSON ALDFONTE.FON b RBENG.DLL RSRC ALDFS32.DLL MAIPM6.DLL 🗿 README6J.WRI TABLE25J Unix ネットワーク] XV_ch01.pm6 🗟 ALDFONTE.FON PM6J.EXE コンピュータ 6 ヘルフ"を見るには、【ヘルフ"】メニューの【トビックの検索】を外ックしてください。 2 ごみ箱 2 README6.1 WRIIこ対する シートカット
- ▼ アイコンを [Unix ネットワークコンピュータ] からデスクトップにドラッグします。

フォルダのショートカットをダブルクリックすると、[Unixネットワークコン ピュータ] が起動してそのフォルダの内容が表示されます。プログラムの ショートカットをダブルクリックするとそのプログラムが起動します。ド キュメントをダブルクリックすると、関連付けられているプログラムが起動 してそのドキュメントが読み込まれます。

UNIX プログラムの自動的な起動

Windows を起動すると UNIX プログラムが自動的に起動されるようにすることができます。

Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 を起動する と UNIX のプログラムが起動するように設定するには

- ▶ 1 Xアプリケーションか文字ベースのアプリケーションを起動する Windows の デスクトップ項目を作成します(第1章「基本事項」の「UNIX プログラムの デスクトップ項目を作成するには」を参照)。項目は、[スタート] メニューの 中ではなくデスクトップ上に作成します。
- ▶ 2 Windowsのエクスプローラで、[スタートメニュー]フォルダを表示します。



マウスの右ボタンを使ってド キュメントのアイコンを [ス タートメニュー] フォルダにド ラッグします。ドラッグしたら ボタンから指を離します。

- U × ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルブ(H) 🛅 プログラム 🖸 🗈 🍋 👗 🖻 🛍 🖻 すべてのフォルタ 開いているフォルダ: 'C:¥WINDOWS¥スター 1127 + - spool 🗄 🦲 System Q 📋 Temp エクスプローラ インターネット エクスフローラ illia Temporary Inte 🔲 Vgautil 🗄 🦲 スタート メニュー 2 。 ここに移動(M) · 🗄 🔄 プログラム 7", 201-97" who.42 るシュー :clat*~ ショートカットをここ • 26 個のオブジェクト 4. R キャンセル 1 6 ごみ箱
- 4 [ショートカットをここに作成]
 をクリックします。

Windowsを起動するたびに、ショートカットによって指定されたプログラム が起動します。

Windows NT 3.51 を起動すると UNIX のプログラムが起動す るように設定するには

- ▶ 1 文字ベースのアプリケーションの場合は端末エミュレータ用の設定ドキュメント、X アプリケーションの場合はリモートプログラムスタータ用のドキュメントを作成します。
- ▶ 2 ドキュメントを、プログラムマネージャの [スタートアップ] グループにコ ピーします。

このドキュメントによって指定されたプログラムが、Windowsを起動するたびに起動されます。

エミュレータから他のドキュメントへのリンク

リンク貼り付け機能を使うと、端末エミュレーションのドキュメントと Microsoft Excel などの他の Windows アプリケーションで作成したドキュメントとの間に ホットリンクを作成できます。

エミュレーションドキュメントは、UNIX サーバとの接続を開くため、およびリン クするデータを表示するプログラムを実行するために必要な設定をすべて指定す ることによって作成します。データは、フォームを使った問い合わせプログラム と同様に常に画面上の同じ位置に表示される必要があります。

[プログラム] ダイアログボックスで、[拡張機能] をクリックします。

エミュレータの設定		? ×
端末 プログラム	ッールパー スタイル 記録 サイス 表示 フォント カラー	イペシト キーボード
	広 長機能	? ×
	OLE	
妃(元):	▼ ツンク貼り付け(□)	
471-01-0	- ንብሬፖሳት	<u>++>tell</u>
17)1*54)(Q)	貼り付け遅延(P): <mark>50 </mark> ms	
実行(R):	更新貼り付け(W): 2 🚊 secs	
	Iスケープタイムアウト(E): 🛛 🛨 ms	
□ 起動時	- 環境	_
▼ 接続時	▼ DISPLAYの名前を設定(§)	
□ 冗長接		
□ 閉じるモ		
	たり開しる型	
#=!!(c)		
<u>949(0)</u>	14/07& 2011	
ок	キャンセル 更新(<u>A</u>)	^/// 7°

[リンク貼り付け]オプションをクリックして有効にします。タイトルがない状態の ドキュメントにはリンク貼り付けは機能しないため、ドキュメントを保存します。 ドキュメントを開き、リンクしたいデータを選択してから、マウスの右ボタンを クリックしてメニューから [コピー] を選択します。

Definition = V ファイル(E) 編集	T420 Emulator 誕日)表示(V) セッ	/a)(S) 記録(R)	7 ቢ/ኑን (E)	_ □ ×	
		A+ A- 100	¥. 🕘 🖨	? №	
製品在	庫一覧			_	
製品コード:	12345-6789				
製品名:	D-RAM256				<u>ーレハ</u> (D) データの)
在庫数量: ~	10000)			_ 8 ×
~ ~	貼り付	(<u>9</u>)			f _∞ A Z A
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	✓ 固定長 フォントを	とりまり下止) E大きく(L)			₩
~ ~ ~	フォントを フォントロ	E小さく( <u>M</u> ) の			
~	画面分	- )割(S)		-	<u> </u>
	✓自動通 ⊐⊷・」 л カラー(A	翻100 L			
選択内合で	16-0 <u>/</u>		.:0(:20	住庫奴	
	5 製品名	D-RAM256			
	7				
	8	+1 (Sheat) /S	haat2 /Shall	41	
	入力	☐ A計=0	neeto X ane 1	NUM	

Excel のスプレッドシートで、データを表示する位置のセルをマウスの右ボタンで クリックし、メニューから [形式を選択して貼り付け] を選択します。

<b>副</b> Untitled - V1 ファイル( <u>F</u> ) 編集	「420 Emulato 〔① 表示(⊻	) セッション( <u>S</u> )	記錄( <u>R</u> ) :	7ኼ/ነ°ティ( <u>P</u> ) ·	<u>_                                    </u>		
	77 77 P	A+ A	- 1999 924,	0 8 1	? №?		
製品在	庫一覧				<b>_</b>		
製品コード:	12345-6789						
製品名:	X Micros	oft Excel - E	Book1	17.7			
在庫教量:	1 771NG	E) 編集(E)	表示(⊻)	挿入① 書	拭(_) ツ−/	レ(T) データ(D)	
~	942F9( <u>w</u> )						
~ ~ ~			🌮 👗 🖻		ΝαΣ	<i>f</i> ∞ <u>z</u> <u>x</u>	
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	MS Pゴシ	<b>ック</b> ・	r 11 💌	BII	u = =	≣ 🛃 😨 %	
~ ~	D5	•					
~ ~ ~		A	В	С	D	E	
Ĩ	1						
接続時間 0.	3						
1961919-01191-01	4				在庫数		
	5 製品	記名 D-F	AM256				
						แไปโลน	
	6				- 切 - 北	●取り ☆~	
	6 7 8					り取り た。 り付け また経想の「て見い」(力)す	
	6 7 8 4 4 5 5	Sheet1 (St	neet2/Shee	et3/She •	切 北 貼 1	り取り ← り付け 式を選択して貼り付け…	
	6 7 8 ₩ ◀ ▶ ₩ クリッフ [*] ホ ⁻ ト	\ <u>Sheet1</u> (Sh の内容を、形式	neet2/Shee 代、対象、演算	et3/She ◀ 筆方法を指定し	した (加) (加) (加) (加) (加) (加) (加) (加)	り取り へ り付け 式を選択して貼り付け 入 除	
	6 7 8 ⋈ ◀ ▶ ⋈ クリップ淋 ⁻ Ⴡ	<u>Sheet1 (Sh</u> の内容を、形式	neet2/Shee t、対象、演算	et3/She ◀ 訂方法を指定し	い い い い に 開入 「 挿入 「 押 」 の 扱 」 の い い い い い い い い い い い い い い い い い い	り取り そう 気 <mark>を選択して貼り付け。</mark> え、 、 、、、、、、、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	

[リンク貼り付け] をクリックし、[貼り付ける形式] リストボックスで [Text] をク リックします。

🗾 Untitled - V ファイル(E) 編集)Emulator <u>ーロメ</u> 表示(V) セッション(S) 記録(B) プロバティ(P) ヘルブ(H)	
	T B B A+ A- 199 20 6 9 19	
製	全庫	? ×
製品コード	1 リンク元: VT420 Document オフジェクト	ОК
製品名:	2.122 7 貼り付ける形式(<u>A</u>):	キャンセル
在庫数量:	マクト ○ 貼り付け(P): VT420 Document オフジェクト ・ ○ リン畑おり付け(L): Picture	*
~		
~		
~	1 設定はれたされません。 1	2호환
~	2	-012
Ĩ	4 <u>11.144.88</u>	
接続時間の	5 製品名 D-RAM256	
100000-01-01-01	7	
	8	
	Sheet1 (Sheet2 / Sheet3 / Sheet3 / She	
	1 キーを押すと、 /ル 合計=0 NUM	

リンクが作成されて、端末エミュレータの画面のその行と列に現在表示されてい る文字がスプレッドシートのセルに表示されます。

📑 Untitled = V	F420 Em	nulator		-				×			
ファイル(E) 編集	€(<u>E</u>) ∄	€示(⊻)	セッション(<u>S</u>)	記錄(<u>R</u>)	7 ቢ/ኑን	77(<u>P</u>)	^/l/ブ(<u>H</u>)				
	T	۱ ۱	A+ 6	A- 100 9	¥, 🕛	9	? №				
製	品在阗	一覧									
製品コード	: 1:	2345-6	1789								
制口力,	🗙 Mi	icrosoft	Excel -	Book1		i.				_ 🗆	×
我而名:	P 🐴 🤊	7111(E)	編集(E)	表示(⊻)	挿入	Q i	書式(⊙)	ツールの	Di	···-坎(D)	
在审数量:		ቻ(<u>መ</u>)	^ルプ(<u>H</u>)							_ 8	×
1_1+><= .	D	2	<i>a</i>	₩Ç 🖌	B 🔒	S	n M	Σ	f _x		
~	MST	Pゴシック	7	- 11	• B	I	u ≣	<u></u>	≡ •	9	%
~	ř-	D5	-	, 	/T4 20 1	Docur	mentl'C			<u> </u>	-
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~				- ¥V		NS¥T	EMP¥a	ExO11	2 v42	21	
~		A		- P Y	√duGet	t O 21	6 26	7 0'}			
~	2										-
~	3										
~	4						在庫券	<b>b</b>			
<u> </u>	5	製品名	3 D-I	RAM256			10	0000			
接続時間 [];	6										
	7										
	8										-
	•	► ►\S	heeti (S	heet2/SH	neet3/3	She	(			►	
	17'/k	;		H=10000			NI	IM			

データが変更されると、リンク機能によってスプレッドシートのデータも変化し ます。

## Zone を使ったデスクトップの整理

Windows 2000/Me/98/95 または Windows NT 4.0 を使っている場合は、Zone プロ グラムを使ってデスクトップを整理できます。現在実行中のアプリケーションを ゾーンにグループ化し、その間で簡単に切り替えることができます。Zone を起動 すると、PC 画面の最上部にゾーンバーが表示されます。

☆ 参照 詳細については、 ヘルプのキーワー ドの「Zone」を参 照してください。 左端の [Zone] ボタンをクリックするとメニューが表示されます。他のボタンはそ れぞれのゾーンを表しています。ゾーンの名前を変更したり、ゾーンバーを移動 したり、 Windows のツールバーを非表示にするのと同様にゾーンバーを非表示に できます。Windows のデスクトップはすべてのゾーンで常に表示されます。

Zoneを起動したときに実行中のプログラムは、すべて Zone 1 に置かれます。他の ゾーンに切り替えるには、ゾーンボタンをクリックすると新しいゾーンが現れる ので、そのゾーンに表示したいアプリケーションを起動します。ローカルの Windows アプリケーションの起動や、他の

プログラムを使って UNIX アプリケーションを起動することもできます。

各ゾーンには [スタートアップ] フォルダがあります。そのゾーンに初めて入った ときには、ここに指定したプログラムが起動されます。

## 索引

# ?



 1つ上のフォルダ 表示 31
 1つ上のフォルダの表示 31

#### Μ

Motif 40

#### 0

OPEN LOOK 40

#### Ρ

PC での UNIXサーバの内容確認 25-27 PC のファイル UNIXプリンタでの印刷 50-56

### U

Unix アプリケーションウィザード 19 UNIX サーバ 表示 25-31 UNIX サーバの内容の確認 25-31 Unix ネットワークコンピュータ (Windows 2000/Me/98 ファイルとフォルダの削除 44 UNIX の階層の表示 26 UNIX ショートカットを Windows デスクトップに置く 58-60 UNIX ファイル Windows プリンタでの印刷 49-50 UNIX プログラム 自動起動 59-60 UNIX プログラムのデスクトップ項目 19



Vision コミュニケーションの設定 34 Vision サービスの設定 35 [Vision] フォルダ ~ の中の X Vision アイテム 10-11

#### W

Windows 2000/Me/98/95 または NT 4.0 のデスクトッ ~上の X Vision アイテム 9 Windows デスクトップ項目 19 Windows のデスクトップ UNIX ショートカットの配置 58-60

#### Χ

X Vision [Vision] フォルダ内のアイテム 10-11 Windows 2000/Me/98/95 または NT 4.0 のデスクトッ 9 Zone を使ったデスクトップへの整理 64 プログラムマネージャの [Vision] グループ 10-11 他のドキュメントへのリンク 61-63 X Vision の効率的な使用 UNIX ジョートカットの Windows デスクトップへの配 置 58-60 UNIX プログラムの自動起動 59-60 X Vision のプロファイル 36, 38 X サーバ アクティブな~の設定 37 起動 39-41

#### Ζ

Zone デスクトップの整理 64

#### ア

アクティブなXサーバ 37

#### イ

印刷する 49-55 UNIX で PC のファイルを 50-56 Windows のプリンタで UNIX のファイルを 49-50 ローカルプリンタの種類の変更 49-50

#### ゥ

ウィンドウの表示形式 変更 30

#### I

エミュレータを使った UNIX サーバへの接続 15, 17

#### 才

オンラインインデックス 使用 13

#### Ŧ

起動する UNIX プログラムを自動的に 59-60 X サーバ 39-41 疑問符のボタン ヘルプの表示 14

高度な機能 32 コピーする 端末エミュレータからデータを 22

#### サ

削除する Unix ネットワークコンピュータを使ってフォルダやフ 44 作成 UNIX プログラムのデスクトップアイテム 19 作成する ホストエクスプローラを使ってフォルダを 44-45 ホストマネージャを使ってフォルダを 48

#### シ

システム設定
 Vision コミュニケーション の設定 34
 Vision サービスの設定 35
 X Vision のプロファイルの設定 36, 38
 アクティブな X サーバの設定 37
 設定 33-39
 ショートカット 58
 シングルウィンドウモード 40

#### セ

設定する Vision コミュニケーション 34 Vision サービス 35 X Vision のプロファイル 36, 38 アクティブな X サーバ 37 システムの設定 33-39

#### タ

ダイアログボックス ~でのヘルプの使用法 14 端末エミュレータ UNIX サーバへの接続 15, 17 コピーアンドペースト 22 フォント代替 23-25 他のドキュメントへのリンク 61-63 端末エミュレータでの作業 UNIX サーバへの接続 15, 17 コピーアンドペースト 22 フォント代替 23-25 他のドキュメントへのリンク 61-63

#### ッ

ツールバー フォルダウィンドウでの表示 31 追加的な機能 57



デスクトップ項目 UNIX プログラムの~を作成する 19-22

ドキュメント ホストエクスプローラまたはホストマネージャから開く 27 ドラッグアンドドロップ 42,43

#### フ

ファイル 41-48 Unix ネットワークコンピュータを使った移動 41 Unix ネットワークコンピュータを使ったコピー 41 Unix ネットワークコンピュータを使った削除 44 種類 29 整理 41-48 ドラッグによる移動 42,43 ドラッグによるコピー 42,43 ホストマネージャを使ったコピー 45-46 ホストマネージャを使った削除 47 ファイルとフォルダの整理 41-48 ファイルの種類 29 ファイルの種類の区別 29 ファイルを移動する Unix ネットワークコンピュータを使って 41 ドラッグによって 42,43 マウスの右ボタンを使って (Windows 2000/Me/98/95 と 41 ファイルをコピーする Unix ネットワークコンピュータを使って 41-44 ドラッグによって 42,43 ホストマネージャを使って 45-46 マウスの右ボタンを使って (Windows 2000/Me/98/95 41 フォルダ 1つ上の表示 31 Unix ネットワークコンピュータを使った移動 41 Unix ネットワークコンピュータを使ったコピー 41 Unix ネットワークコンピュータを使った削除 44 整理 41-48 ホストエクスプローラを使った作成 44-45 ホストマネージャを使ったコピー 45-46 ホストマネージャを使った削除 47 ホストマネージャを使った作成 48 フォルダを移動する Unix ネットワークコンピュータを使って 41 フォルダをコピーする Unix ネットワークコンピュータを使って 41-44 ホストマネージャを使って 45-46 フォント代替 23-25 プリンタ Vision サービスでのリモートプリンタの設定 55 Windows NT 3.51 での追加 53-55

Windows 2000/Me/98/95 と NT 4.0 での追加 51-53 プログラム 実行 15-17 端末エミュレータでの実行 17-26 ホストエクスプローラまたはホストマネージャからの実 29-30 プログラムとドキュメントのオープン 15, 17 プログラムマネージャの [Vision] グループ ~ の中の [X Vision] アイテム 10-11 プロパティシート. ダイアログボックス を参照 プロパティのダイアログボックス. ダイアログボックス を参照

#### $\boldsymbol{\wedge}$

ペースト 端末エミュレータへのデータの 22 ヘルプ アクセス 12-14 オンラインインデックスの使用 13 特定のアイテム 14-15 トピックリストの使用 13 ヘルプトピックの検索 12 ヘルプの [キーワード] タブ トピックの参照 13 ヘルプの [目次] タブ トピックを探すために使う 13 ヘルプの使い方 12-14 変更する フォルダウィンドウでのアイコンの表示形式 30 フォルダウィンドウの表示形式 30

#### 朩

他のドキュメントへのリンク 61-63 ホストエクスプローラ (Windows 2000/Me/98/95 と NT エクスプローラモード 26 フォルダ階層の表示 26 ホストエクスプローラ (Windows 95 と NT 4.0) プログラムの実行とドキュメントのオープン 29 フォルダの作成 44-45 ホストエクスプローラ (Windows NT 3.51) プログラムの実行とドキュメントのオープン 29 ホストマネージャ (Windows NT 3.51) UNIX サーバの内容の表示 27-28 45-46 ファイルとフォルダの削除 47 フォルダの作成 48

#### マ

マウスの右ボタン ファイルのコピーと移動 41

#### IJ

リモートプリンタ Vision サービスでの設定 55